

放課後子ども教室だよ

飯坂たのしい教室訪問

令和2年11月12日(木)訪問

| | | | |
|-------|----------------------------|---------|--------------------|
| ○開設年度 | 平成19年 | ○参加者 | 対象学年：1～6年生 |
| ○活動場所 | 川俣町飯坂公民館 | ○登録スタッフ | 登録児童数：17名 |
| ○実施回数 | 58回 | ○登録スタッフ | 7名 ※安全管理員・活動指導員の兼務 |
| ○実施時間 | 2時間 火・木曜日 (15:00～17:00) | ○活動内容 | 宿題 運動 自由遊び 季節行事等 |

みんなが楽しく遊べるように

子どもたちは、飯坂小学校に隣接している公民館で活動を行っています。たのしい教室にやってきた子どもたちは、最初に和室で宿題に取り組みます。

訪問当日のプログラムは、「宿題・自由遊び」でした。訪問した時は、2年生の子どもたちが宿題に取り組んでいるところでした。どの子も集中してじっくりと取り組んでいました。

子どもたちは、宿題の時は学校の制服を着て勉強をし、終わると私服に着替えます。「外で遊ぶときは私服で」というのが、この教室のルールです。子どもたちに聞いてみると、「制服のほうが、ちゃんと勉強しようという気持ちになる」「私服の方が、思いっきり遊べる」と話してくれました。子どもたちは、着替えることで気持ちを切り替えているようでした。

宿題が終わった子どもたちは、2階のホールや外に移動して自由に遊びます。今の子どもたちのブームは「ブランコ」だそうです。この日も、2年生の子どもたちが気持ちよさそうにブランコで遊んでいました。子どもたちの話では、ブランコに乗りたい人が多いのだが、お互いに譲り合いながら遊んでいるとのことでした。みんなが楽しく遊べるように、自分たちでルールや約束事を決めていく子どもたちの姿に感心しました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、これまで行っていた活動プログラムの内容が制限されてしまっているそうです。しかし、そのような中でも、飯坂たのしい教室の子どもたちは、自分たちが楽しむことができるようにと考え、のびのびと活動しています。



ポイント

自分のことは自分でします

子どもたちは、宿題をするときに使用する机を自主的に準備し、勉強が終わると自分で片付けます。

和室の中には、以前この教室に参加していた児童（現在は高校生）が書いたポスターが貼られていました。子どもたちに自分たちで使うものを準備し、片付けることが身につけているのは、このようなポスターの影響も大きいのではないかと思います。

飯坂たのしい教室では、自分で考え、判断して行動する子どもたちが育っています。



コロナ禍における活動のヒント

昨年度は、毎週火～金曜日まで全学年の児童を対象に、活動終了時刻を午後6時までとして行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、毎週火曜日と木曜日の午後5時までの開催としました。

新型コロナウイルス感染症対策として行っていることは、子どもたちの検温と、使用した机の消毒、マスクの着用です。また、机は1人1台で使用するようにしているということです。友達と密になりそうな時には、自主的に友達との間にランドセルを置いて宿題に取り組む子もいるそうです。コーディネーターによると、子どもたちの意識の高さは「学校の指導の影響が大きい」といいます。今年度当初は、子どもたちも「密になる」と言って、とても気にしていたそうです。「一人一机」のきまりも、子どもたちから生まれたものだそうです。

